

桐生市立商業高等学校 学校評価一覧表② (平成30年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。	A	A	A	・昨年度第2回の生徒アンケート結果と比較して、今年度第2回の生徒アンケートの肯定的な回答が①17%、②9%、③5%増加した。引き続き教育活動全般で生徒に声かけを行いたい。	・生徒の気持ちを受け止め、生徒の心を感じ取りながら、生徒と教員間、生徒同士の信頼関係を構築する指導を継続してもらいたい。	・生徒一人ひとりを「かけがえのない存在」、「自らよりよく成長するもの」としてとらえる生徒観に立ち、教育活動全般を通して生徒に安心感を与え、信頼されるように努める。
		②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
		③総合的な学習の時間(ふれあいの時間)を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が80%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が80%以上である。	A	A	A	・昨年度第2回の生徒アンケート結果と比較して、今年度第2回の生徒アンケートの肯定的な回答が④4%、⑤19%、⑥3%増加した。 ・商業科に学ぶ生徒として、その専門知識の習得とそれをふまえた各種検定試験に合格できる力を養成し、一人ひとりの生徒が自信をもって進級、卒業できるよう繰り返し指導したい。 ・各教科・科目の単位を修得するためには、まずは地道に履修することの重要性を生徒保護者に周知徹底させたい。	・手段と目的を峻別して、資格取得等に取り組んでももらいたい。 ・愛情は技術にまさることを忘れずに指導を継続してもらいたい。	・相互に認め合い学び合う場を設定し、生徒の間違いや失敗を生かす対応、勇気づける対応を意識した、カウンセリングマインドに立った授業改善に努める。
		⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥定期テストや検定試験のための学習をする生徒の割合が70%以上である。	B	A	B			
		⑦成績不振科目のある生徒の割合が10%未満である。	A	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日実施している。	A	A	A	・昨年度第2回の生徒アンケート結果と比較して、今年度第2回の生徒アンケートの肯定的な回答が⑨3%、⑩の遅刻率4.1%、⑪14%増加した。 ・毎日の職員打合せ等で、生徒に関する情報交換を継続したい。 ・「教育相談・いじめアンケート」や個人面談等を定期的実施し、その結果を全職員で共有する。その上でいじめと思われるようなことがあれば、いじめ防止委員会が迅速に対処する。	・相手の目を見て元気よくあいさつできる生徒を育成してもらいたい。 ・SNSの問題は、とても根深いものがある。教員側から禁止とするのではなく、なぜだめなのか子どもたちに考えさせ、子どもたちの言葉で発表することで効果が得られる。良い情報も悪い情報もSNS等から入ってくるので、指導が難しくなる。	・引き続き日々の職員打合せの際に特に生徒に関する情報の共有に努める。 ・生徒が教師に心を開いて安心していじめを受けていることを語るができる関係になるために、教師自身が日頃から心を開いて生徒に語りかける。
		⑨学校の生活指導(あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導)が適切であると回答する生徒・保護者の割合が80%以上である。	A	A	A			
		⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A	A	A			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪欠席率が10%以下、遅刻率が15%以下である。	A	A	A			
		⑫友好関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が80%以上である。	A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑬適性や希望などを生かした計画的な進路指導を行っている回答する生徒の割合が70%以上である。	A	A	A	・昨年度第2回の生徒アンケート結果と比較して、今年度第2回の生徒アンケートの肯定的な回答が⑬8%、⑭17%増加した。 ・1年次からキャリア教育を推進している。今年度も、早い段階から進路選択を意識させるため、進路ガイダンスにおいて、面接指導やグループワークなど実施した。	・定時制生徒一人ひとりに対して適切な進路情報等を発信し、進路希望を実現してもらいたい。	・生徒面談、保護者面談を通じて生徒一人ひとりの適性や希望を把握し、適切な進路指導を実践する。 ・進路実現に向け、計画の改善や環境作りに励み、生徒の意識を高める指導を実践する。
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒の割合が70%以上である。	B	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。 ⑯Webページを学期に3回以上更新している。	A B	A B	A B	・1学期に全保護者を対象に保護者面談を実施した。その後も随時実施している。引き続き保護者との信頼関係づくりを推進したい。	・最新の情報提供を継続してもらいたい	・生徒の活動等を積極的に発信していく。